

# 作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
経営学部経営学科	杉本 育夫	2024年5月1日

## 【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

### 1.1. 前期

職業指導A | 学部 | 学科 | クラス  
管理会計論 | 学部 | 学科 | クラス  
教育実習事前事後指導 | 学部 | 学科 | クラス  
原価計算論 | 学部 | 学科 | クラス  
商業科教育法Ⅰ | 学部 | 学科 | クラス  
会計学総論 | 学部 2 学科 | クラス

### 1.2. 後期

職業指導B | 学部 | 学科 | クラス  
商業科教育法Ⅱ | 学部 | 学科 | クラス  
会計学総論 | 学部 2 学科 | クラス  
キャリアデザインⅠ | 学部 2 学科 | クラス

## 【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

私の教育の理念は、学生ひとり一人は素晴らしい可能性を秘めている、そして、学生がコツコツと地道に努力することにより、自分の可能性が開花することができるかと信じている。学ぶことに関してできるだけ学生に寄り添い、丁寧に指導しながら自らが学ぶ力を育てていきたいと考えている。

## 【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

### 3.1. 目標とその目標に対するアプローチ方法の指導

学ぶ目的をそれぞれの学生がどこに置くか、目標をどのように達成するのか、目標達成のためのアプローチをどうしたら実現させられるのか、過程を重要視している

### 3.2. フィードバック

学生の目標管理の進行が、随時適正に進捗しているのか、教員学生がお互いに話し合いのうえでチェックするようにしている

### 3.3. 評価

様々な評価の観点から、学生の努力を評価できるような仕組みを取り入れている、毎回の講義の中での自己評価はもちろん、検定試験、小テストなどにより学生自らが客観性のある評価ができるようにしている。

【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

4.1 多くの学生が自らの目標を設定し、自らの学び方を充実させて、それぞれの目標に到達することができている。検定合格や外部の評価も多くの学生がうけられるようになった。何よりも、学生一人一人の中に自ら学ぼうとする姿勢ができてきて、様々な試験に挑戦するようになったことは、大いに評価できる。

【目標】(今後どうするか)

5.1 継続的な目標設定の更新

自ら学ぶことの到達度により、新しく目標を見直すことが随時必要となってくる。そのため、学生一人一人に丁寧に寄り添ってコミュニケーションをとり、新たに学びにつなげていくことが重要と考える。